

## ◆気持ちも新たに2学期のスタートです！◆



## 【節目の式 式辞】

生徒の皆さんからたくさんの感動をもらった体育祭も終わり、急激に秋の気配が色濃く感じられるようになりました。先ほどは、夏休み以降にいただいた賞状の伝達を行いました。わずか2ヶ月の間に、たくさんの成果をあげた東中の生徒の皆さんを、本当に誇らしく思います。

さて、今日は「節目の式」。1学期が先週末に終了し、2学期が今日から始まる「節目」です。ところで「節目」とはどのような意味でしょう。「節目」とはもともと「木材や竹の、節のある所」という意味ですが、普段はほとんど比喩的に「物事の区切りとなる大事な所」という意味で用いられます。

校長先生自身もそうですが、人は「頑張ろう」「努力しよう」と思っている、それを続けていくのはなかなか難しいものです。特に、高い目標をクリアしたり、苦手なことを克服したりするために、頑張り続けていく意欲・モチベーションを保つことは大変です。それを保ち「頑張り続けていく」ためには、自分で自分の進歩、言い換えれば「自分の成長」を意識し、小さな達成感を積み重ねることが必要だと思うのです。

そこで、「節目」です。1学期が終わり2学期が始まるという節目に、これまで自分が「頑張ったこと」を振り返り、その成果と課題を明確にし、これからの目標を立てる。まさに今日は「物事の区切りとなる大切な日」といえるわけです。

その成果と課題を明確にし、これからの目標を立てる材料の一つが皆さんが先週金曜日に受け取った「通知表」です。各教科の評定はもちろん、観点別学習状況の評価、そして通知表を渡す際に、担任の先生方が皆さんにかけてくださった言葉など、一つ一つが振り返りの対象となるはずです。

また、先ほど、各学年代表の皆さんが、1学期の振り返りと2学期の決意を述べてくれました。まさに「節目」にふさわしい内容だったと思います。

これらを踏まえて、この「節目の式」が、生徒の皆さん一人一人にとって、これまでの自分の頑張りや成長に誇りをもち、新たな目標をもつ「節目」となることを校長先生は信じています。

今日から2学期。明日は早速、県南駅伝に代表の皆さんが参加します。10月はじめから朝練を積み重ねた成果を発揮し、たすきと思いをつなぐレースを期待しています。そして11月になると、秋陽祭がありますね。2学期も、生徒の皆さんが頑張る姿、努力する姿がたくさん見られることを期待して、「節目の式」にあたっての式辞とします。

## ◆体育祭が開催されました。◆

9月28日(土)に第40回体育祭が開催されました。前日までの雨天により開催が心配されましたが、当日は雨も降らず、生徒たちの願いが天に届いたかのような晴天に恵まれました。

各競技では、生徒たちの躍動する姿がみられました。また、午後の応援合戦では、豪傑団、飛翔団ともまとまった演技を披露し、練習の成果を発揮することができました。

当日は、保護者の皆様や地域の方々に、多くの声援をいただきました。子どもたちにとっても大いに励みになったことと思います。ご協力、ご声援に感謝申し上げます。



## ◆秋陽祭（11月2日(土)）ぜひ参観ください！◆

現在、学校では秋陽祭に向けて、各学級での合唱の練習が始まりました。パートごとに熱心に練習に取り組む様子から、体育祭同様、素晴らしい行事になることが期待されます。当日、お時間があれば、ぜひ、ご参観いただきますようお願いいたします。(教頭)